



タネが貢献する心を育てる

学校長 村越 新

一年生がアサガオのタネを植えました。お世話も始まっています。小さな小さな種を大事に大事に土の中に入れて、水をあげていました。「大きく育てね」と声をかけている子もいます。同じように、二年生はミニトマトを、三年生はハウセンカとヒマワリを育てていきます。



植物を育てていく過程で、子供たちは**大事なことに気づきます**。初めは『**植物の特徴**』です。「葉の大きさ」「種の色」「茎の太さ」などなどです。次の気づきは『**植物の成長**』です。「葉が増えてきた」「花が咲いた」「大きくなった」などなどです。さらに『**成長の理由**』に気づきます。「水を毎日あげたから育った」「日があたるところだとよく育つ」などなどです。逆もあります。「水をあげすぎて倒れてしまった」などです。

そして、一番気づいてほしいにこと『**自分の役割**』にたどり着きます。「私が水を毎日あげたおかげで、大きくなった」「草むしりしてあげたから、よく育った」「愛情込めてお世話したから、きれいに花が咲いてくれた」「雨の日に水をあげなかったおかげかも」などです。自分が大事な**命の役に立った**ことを実感するのです。

小さなタネとの出会いによって、低学年の子でも『**貢献する心**』を磨くことができます。磨いてほしいのです。「〇〇さんのおかげで、立派な素敵な〇〇が育った（咲いた）」と言ってあげたいものです。



小さな子供たちの貢献を支えるのは、周りの大人の役割。一緒に見守り、応援してあげましょう。

子どもの睡眠

県の小学校長会にて千葉伸太郎氏による『寝る子は育つの未来を創る』の講演を聴きました。氏は太田睡眠科学センター&睡眠外科学センターにお勤めの医師です。子供の睡眠について、たいへん興味深い示唆をいただきましたので、紹介させていただきます。

- ・しっかり寝ない子は太る、肥満率が急増する
- ・毎日8時間以上寝る子は、6時間未満の子より、学力も体力も上回りやすい
- ・世界的には、子供は一日9時間～11時間寝ている
- ・就寝時刻が早い子の方が、学力が高くなる傾向がある
- ・睡眠時間が短い子ほど、イライラする、キレル
- ・子供の睡眠は、心身の成長・学業成績に影響する
- ・大人が寝ないと、子供も寝ない

体力向上

13日（火）体育朝会にて、簡単にできて体力向上につながる運動を行いました。投力、走力、反復力、跳躍力、握力等を高めるために一人でもできる運動が紹介され、実際に全員が体験しました。

全員がスタートラインに立ったこととなります。この運動がこの時間で終わりののか、すぐに自分でやってみるのか、定期的につけていくのかで大きな差がつきます。扇っ子が自分から取り組む姿、自走する姿を期待したいです。



お願い

LEVERでお伝えしましたが、タブレットの使用について2点、再確認をお願いします。市から貸与されている**タブレット**は

- 1 **学習にのみ使う**
- 2 **家では親のいる（見ている）所で使う**